

平成28年度 中学部 家庭生活シラバス 時数6時間／週

教科等のねらい

- ・家庭生活に必要な知識、技能を身に付け、進んで取り組もうとする態度を育てる。

主な指導内容

- ・ 基本的生活習慣（衛生、排泄、食事のマナー、着替え、入浴、整理整頓）
- ・ 家事（清掃、調理、洗濯、裁縫、ゴミの分別、アイロン、お茶入れ）

評価方法

- ・ 観点（①関心・意欲・態度、②知識・理解、③技能、④思考・判断・表現）を設定し、複数職員の観察から評価する。
- ・ 単元の終段で学習した内容が実際にできるか実技検査の機会を設定し、達成度を評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
5 ～ 6	「調理の基本」	○調理 ・ 衛生 ・ 調理室の使い方 ・ 火の扱い （ゆでる、炒めるなど）	・ 調理室の使い方や道具の場所を理解する。 ・ 調理に適した清潔な服装や手洗いをする。 ・ ガスの扱いや火の調節、電子レンジの扱い、安全面について知る。	② ③ ②
7	「家庭での仕事」	◎家庭内の家事 ・ 洗濯 （洗濯機の使い方、洗濯干し、畳みなど） ・ 掃除 （ほうき、皿洗いなど） ・ ゴミ出し ・ お茶入れ など	・ 洗濯に関する仕事ができる。 ・ 水回りの仕事や各種掃除ができる。 ・ 簡単なゴミの種類が分かる。 ・ ポットを使って自分でお茶をいれる。	③ ③ ② ③
10 ～ 12	「調理の基本2」	◎調理 ・ 食品や用具の扱い方 ・ 調理方法の理解 ・ 衛生 ・ 包丁、計量、ピーラー等の道具の使い方	・ 食品や食材、調理用具の名前を理解する。 ・ 安全や衛生に気を付けながら調理する。 ・ 使用する器具の準備や後片付けを行う。	② ③ ①
12	「家庭での仕事2」	○家庭内の家事 ・ 洗濯に関する仕事 （収納、アイロン掛けなど） ・ 掃除に関する仕事 （掃除機、皿洗いなど） ・ ゴミ出し、分別 ・ お茶入れ など	・ 洗濯に関する仕事ができる。 ・ 各種掃除用具の扱い方を知り、それらを使って掃除ができる。 ・ ゴミの種類が分かり、分別する。 ・ ポットを使って自分でお茶をいれる。	③ ② ④ ③
1 ～ 2	「縫い物」	○裁縫 ・ 裁縫用具（針、まち針、はさみ等）の使い方 ・ 並縫い、玉留め、玉結び ・ ボタン付け	・ 裁縫用具の名称や使い方を知る。 ・ 玉留め、玉結び、並縫いを行う。 ・ 体操着の名札や衣服のボタン付けをする。	② ③ ③

【デイリー・カリキュラム】

月	単元名	指導内容	主な学習活動	評価の観点
通 年	「着替え」 (場面) ・登下校時 ・体育、配膳等 ・汗の始末時 など	○着替え ○場面の理解 ○着替えの手順、方法 ○着替え動作 ○身なりの確認 ◎場面や気候に応じた衣服 の選択、調節	・スポーツや調理等、場面に 応じて着替えをする。 ・前後左右に注意をして衣服の 着脱をする。 ・脱いだ衣服を畳む。 ・身だしなみが整っているか鏡 を見て確認をする。 ・季節や気温、体調に応じて衣 服を選択して着替える。	④ ③ ③ ④ ④
	「トイレ」	○排泄の知らせ ○衣服の操作 ○排尿、排便 ○手洗い	・定時、又は出たいときに、教 師に伝えトイレに行き、排泄 をする。 ・和式洋式問わず、正しい姿勢 で排泄をする。 ・紙で拭き取る。 ・身支度をする。 ・排泄後に手を洗う。	① ③ ③ ③ ③
	「清潔」	○手洗い ○うがい ○歯磨き ○鼻かみ ○換気 ○検温 ○マスク	・手の汚れに注意をして洗う。 ・屋外での活動後、手洗いとう がいをする。 ・ハンカチを使って手を拭く。 ・食事前や排泄後などに手を洗 う。 ・食後などに歯を磨く。 ・ティッシュで鼻をかむ。 ・季節や体調に応じて換気や検 温を行う。 ・健康状態や周囲の環境に応じ て適宜マスクを着用する。	④ ④ ③ ③ ③ ③ ④ ④
	「洗濯」	◎洗濯 ・洗濯機の使い方 ・干し方 ・畳み方	・洗濯物の量に応じた洗剤の分 量を扱う。 ・給食着を洗って干す。 ・きれいに畳んでしまう。	④ ③ ③